



別記様式(第8条関係)
(その1)

令和 2 年 4 月 28 日

新城市議会議長

鈴木 達雄 様

氏名 齊藤 竜也



令和元年度政務活動費収支報告について

新城市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり
令和元年度政務活動費収支報告書を提出します。

(その2)

令和元年度政務活動費収支報告書

氏名 齊藤 竜也

(会派にあつては、名称及び代表者氏名)

1 収 入

政務活動費 150,000 円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	¥57,680	交通費45,680円 + 研修参加費12,000円
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費	¥6,754	共同使用コピー機リース料コピー使用料 6,754 円
資 料 購 入 費		
合 計	64,434	

3 残 額

85,566 円

(注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。
2 領収書又はこれに準ずる書類を添付する。

がましん キャッシュサービスご利用明細票

いつもご利用いただきましてありがとうございます。



ご利用年月日	お取引店舗-受付番号
01-10-25	15620987-0102
お取引店	口座番号
万円券(枚) 五千円券(枚) 二千円券(枚) 千円券(枚)	お取引金額
1 1 0 0	¥13,200*
お取引内容	お取引後残高
振込	*****
手数料 ¥440	通紙費 硬貨 ¥500
時刻 13:58	おつり ¥1,860*

お取引店
 [Redacted]
 メイテツカンゴウサービス(カ)様

お振込人
 156サイトウ タツヤ様
 [Redacted]

印紙税申告納
 村にのり標橋
 税務署承認済

<http://www.gamashin.co.jp/>

内、1,200円(昼食代)については
 政務活動費対象外

(注) 領収書又はこれに準ずる書類を重ねないように貼付する

〒441-1392

愛知県 新城市 字東入船 115

愛知県新城市議会 議会事務局 議事調査課

後藤 千代 様

発行日：2019年10月11日

全国過疎問題シンポジウム2019 in あおもり

請求書

〒030-0802

青森県青森市本町1丁目2番15号 青森本町第一生命ビル7階

名鉄観光サービス株式会社

青森支店

TEL: 017-776-5291

E-mail: aomori@mwt.co.jp

受付時間：9：30～17：00

支店長名：川村 勲

担当者名：近藤 善是

毎度格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

下記の通りご請求申し上げます。

ご請求金額 28,000 円

請求番号	171417
申込番号	156

請求明細

内容	単価	数量	金額
参加費-交流会	4,000 円	2	8,000 円
現地視察昼食費-第3分科会【むつ市】 <i>村田</i>	2,800 円	1	2,800 円
現地視察昼食費-第4分科会【七戸町】 <i>近藤</i>	1,200 円	1	1,200 円
宿泊費 10/31 4 ホテルルートイン青森駅前 シングル・朝食付	8,000 円	2	16,000 円
合計			28,000 円
ご入金済額			0 円
ご請求金額			28,000 円

お振り込みは、下記口座へ 2019年10月25日 までお願いいたします。

振込手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。

ご送金の際はお手数ですが、右上の申込番号を振込人名の頭に打電お願いいたします。

振込先	
-----	--

村田 14,800円

近藤 13,200円

*内、1200円(昼食代)に7円は
政務活動費対象外*

令和2年 4月28日

新城市議会議長 鈴木 達雄 様

新城市議会議員 氏名 斉藤 竜也



令和元年11月5日提出の研修報告について、以下のとおり修正します。

記

研 修 日 令和元年10月31日～11月1日

研修先及び目的

研修先：青森県青森市、七戸町

目 的：全国過疎問題シンポジウム in あおもりへの参加

研修内容等

1日目：全国過疎問題シンポジウム in あおもり 全体会
過疎地域自立活性化優良事例表彰

①基調講演 「地域創生 成功の方程式—『五感六育』事業構想と実現—」

講師 木村俊昭氏（東京農業大学教授）

②パネルディスカッション

「地域の食・文化・人を育む『農山漁村』を守る

～経済を回して維持・発展する仕組みづくり～」

2日目：第4分科会 現地取組紹介・意見交換および視察 七戸町

①取組紹介 「かだれ田舎体験協議会」「移住サポーターの会」

②意見交換 上記団体との意見交換・質疑応答

2日間の内容に関して詳細は別紙パンフレット参照

所 感

1日目

講師の木村俊昭氏の基調講演では、まず地域活性化への論理的な取り組み方を解説いただき多くの気づきを得ました。市民による地域活動は先日のまちづくり集会でも議論がありましたが、多くの市民活動はその主体者の感情が基となりスタートしておりますが、「市民イベントで疲弊する町」でもあるように、全体的な政策として乗せにくい点が行政とのギャップを生んでいる印象だと感じました。これから私が地元で市民活動をサポートする際、論理的な成功イメージを持った事業を組織で着手する必要があると思います。その政策は事業計画の段階でマーケティングをもとにした論理的成功イメージがポイントとなると思い、それに向けて活動いたします。

パネルディスカッションではIターンやUターンで地場産業を盛り上げていく方や新事業に取り組む若い世代との交流を聞きました。ただ継いだり、継続性を持たせた事業を立ち上げたとしても少子高齢化の中で未来を描くにはイノベーションが必要であると感じた。農園経営の方も、ただ自分自身が事業をつなぐのではなく、グローバルに拡大できるチャンスはどんどん受け入れていくことを語っておりました。田舎ほどそれが難しいですが新城に置かれた状況も同じことが言える部分が多いので、そういった生の声は大変参考になった。

2日目

昨年参加した際、受賞団体の内容を掘り下げると課題を多く感じました。そこで本年度は成功イメージをしやすいものを分科会で選択し、より新城市で活用できる事案の意見を聞き出そうと思いました。

七戸町の町民が起こした行動は行政との共働が進んでおり、そのポイントはやはり、1日目に学んだ「市民主体の論理的な政策」だと感じました。現状の新城市では多くの市民による市民活動が各地で活発になっておりますが、地域自治の名のもとに共同の形はできていないと感じます。つまり「市民は自由に活動して効果を上げる仕組み」は用意されているものの、そこまでにとどまっており、人口減少、少子高齢化のダウントレンドの回復の政策とはかなり遠い活動にとどまっています。七戸町の活動団体のように、その活動を具体的な業務支援として実施してもらえそうな有効な施策を市民から提案し、そのコーディネートを議会が行うような心がけを確認できました。

総評

2日間を通して、昨年同様に有意義な研修でした。それは今後の活動目標が分かりやすくなってきた点が最も手ごたえを感じるものとなります。昨年度から今日まで、少ししか進められなかった市民自治のモデルケースを地元住民との共同で実現できるように進めてまいります。

11月1日 分科会・現地視察 (五所川原市 / 大鰐町)

※ 第1・第2分科会は、午前中に青森市内(青森国際ホテル)で遠隔地域自立活性化優良事例発表会を行った後、無料貸切バスで現地視察を行います。
 ※ 現地視察は、各分科会ごとに約50名優先席となります。申込書に第3希望までご記入ください。

第1分科会 (五所川原市)

9:30 遠隔地域自立活性化優良事例発表会
 (総務大臣賞、全国遠隔地域自立促進連盟会長賞)

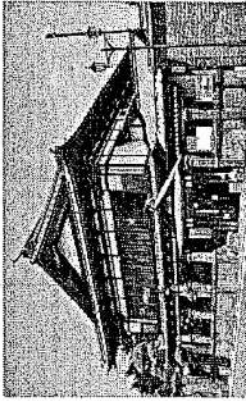
コーディネーター
岡司直也氏
 (法政大学現代福祉学部 教授)
 事例発表者

総務大臣賞及び全国遠隔地域
 自立促進連盟会長賞受賞団体
 11:30 現地視察 (希望者のみ)

金木観光物産館マティニー
 (屋敷:津軽狐土料理)

太宰治記念館「斜陽館」
 立佞武多の館

16:30 解散 (青森駅)



■ 新柳館



■ 立佞武多

第2分科会 (大鰐町)

9:30 遠隔地域自立活性化優良事例発表会
 (総務大臣賞、全国遠隔地域自立促進連盟会長賞)

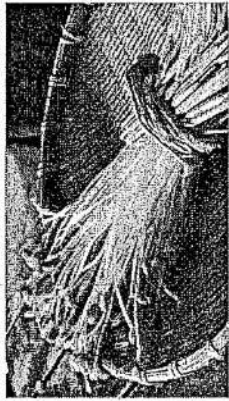
コーディネーター
宮口何迪氏
 (早稲田大学 名誉教授)
 事例発表者

総務大臣賞及び全国遠隔地域
 自立促進連盟会長賞受賞団体
 11:30 現地視察 (希望者のみ)

大鰐温泉もやし生産農家
 大鰐町地域交流センター「こゝろ」
 (屋敷:大鰐温泉もやししゃぶしゃぶ店)

旧「バグーデン」(湯へとびあ)等
 大鰐観光りんご園

16:30 解散 (青森駅)



■ 大鰐温泉もやし



■ 大鰐観光りんご園

11月1日 分科会・現地視察 (むつ市 / 七戸町)

※ 第3・第4分科会は、JR青森駅周辺から無料貸切バスで分科会会場に移動し、分科会・現地視察を行います。
 なお、分科会(現地取組紹介・意見交換)については、無料貸切バス以外でお越しいただくことも可能です。

第3分科会 (むつ市)

8:00 出発

9:20 むつ湾フェリー乗船 (むつ市→鵜野沢)

10:40 現地取組紹介・意見交換

コミュニケーションセンター 鵜野沢温泉

むつ市鵜野沢地域交流センター

・わきのさわ温泉湯治場

12:00 現地視察

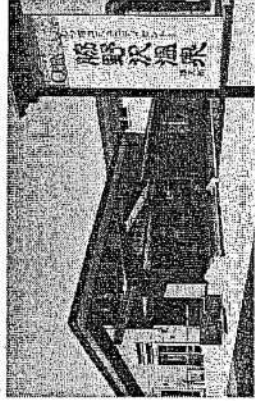
サンマワールドナリ

北の防人大業 安楽館

(屋敷:大鰐湖自カレー)

下北名産センター

17:00 解散 (青森駅)



■ コミュニティセンター 鵜野沢温泉

【注】外ヶ浦町(鵜野沢)から乗船いただく、(原宿町)側から乗船していただくことも可能です。
 (運賃として片道のみ約1,500円を事前に請求させていただきます。)
 なお、気象状況により欠航となった場合は、変更及び行先を一時的に変更して開催します。

〈現地取組紹介を行う施設及び団体について〉

・コミュニティセンター 鵜野沢温泉
 温泉の地産物や観光資源をより活用するために、地産物の加工・販売を促進し、地域活性化を図ることを目的として、平成29年3月より運営を開始。平成30年4月リニューアルオープン。
 ・わきのさわ温泉湯治場
 地産物(鵜野沢産)を活用し、湯治場として運営している。平成29年3月より運営を開始。平成30年4月リニューアルオープン。
 ・サンマワールドナリ
 地産物(鵜野沢産)を活用し、観光資源として活用している。平成29年3月より運営を開始。平成30年4月リニューアルオープン。
 ・北の防人大業 安楽館
 地産物(鵜野沢産)を活用し、観光資源として活用している。平成29年3月より運営を開始。平成30年4月リニューアルオープン。
 ・下北名産センター
 地産物(鵜野沢産)を活用し、観光資源として活用している。平成29年3月より運営を開始。平成30年4月リニューアルオープン。



第4分科会 (七戸町)

9:20 出発

10:30 現地取組紹介・意見交換

七戸町観光交流センター

・七戸町かたはれ田舎体験協議会

・七戸町かたはれ田舎体験協議会

11:20 現地視察

杉屋敷 奥山

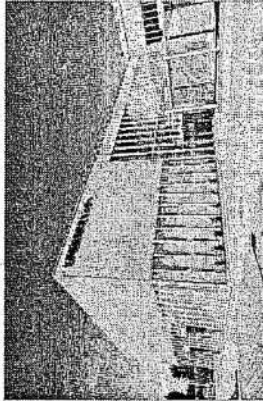
(屋敷:オリジナル和食)

旧南部縦貫鉄道レールバス

ハッピーファーム (旧田代牧場)

道の駅しちのへ

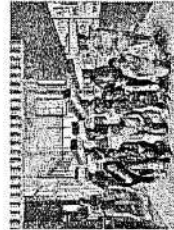
16:00 解散 (青森駅)



■ 七戸町観光交流センター

〈現地取組紹介を行う団体について〉

・七戸町かたはれ田舎体験協議会
 「田舎は最高のエンターテインメント!」をキャッチフレーズに、田舎の良さを気軽に楽しめる様々な体験メニューを用意しています。
 ・杉屋敷 奥山
 地産物(七戸産)を活用し、観光資源として活用している。平成29年3月より運営を開始。平成30年4月リニューアルオープン。
 ・旧南部縦貫鉄道レールバス
 地産物(七戸産)を活用し、観光資源として活用している。平成29年3月より運営を開始。平成30年4月リニューアルオープン。
 ・ハッピーファーム (旧田代牧場)
 地産物(七戸産)を活用し、観光資源として活用している。平成29年3月より運営を開始。平成30年4月リニューアルオープン。
 ・道の駅しちのへ
 地産物(七戸産)を活用し、観光資源として活用している。平成29年3月より運営を開始。平成30年4月リニューアルオープン。



■ 道の駅しちのへ

参加申込のご案内

ご参加の皆様方の便宜を図るため、名鉄観光サービス株式会社青森支店よりご案内させていただきます。つきましては、皆様が安心してご参加いただけてますよう下記をご確認の上、お早めにお申し込み下さい。

参加費用のご案内

全体会： 無料
 交流会： 4,000円
 分科会： 無料 ※第3分科会（むつ市）に参加される場合、フェリー代1,800円を請求させていただきます。

交通

「交通・会場のご案内」より、アクセスをご参考ください。

宿泊

宿泊が必要な方は「宿泊のご案内」を参照の上、ご希望宿泊先の施設番号を申込書に記入しお申し込みください。申込は先着順となっております。ご希望のホテルが満室の際は、代案のホテルをご案内させていただきますので、予めご了承下さるようお願い申し上げます。

昼食

現地焼酎屋敷費用（お一人様）

第1分科会 1,100円 第2分科会 1,580円 第3分科会 1,200円 第4分科会 1,200円
 ※各現地視察先の飲食店で、その土地ならではのお食事をご提供します。

お申込み方法

別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にてお申し込みください。郵送の場合は、必ずお手元にコピーを残してください。参加申込はWebによる受付も可能です。URLかQRコードからお申し込みください。
 URL： <http://kaso-simposium2019.info>



申込締切日は、令和元年9月27日（金）です。

お申込み受付後、弊社より受領確認書をFAX・郵送・E-mailにてさせていただきます。申込締切日以降、宿泊等の調整をさせていただいた後に、申込代表者宛に「予約回答兼請求書」、参加証、チケット類（宿泊券・屋敷引換券）、宿泊パンフレットなどを郵送いたしますので、10月9日まで「請求書」に記載の指定口座にご入金をお願いいたします。
 （お振込手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。）

お申し込み後の取消・変更について

交流会の参加費は原則として返却いたしません。宿泊の取消料および変更につきましては、弊社よりご連絡申し上げます。

宿泊のご案内

- ※ 宿泊日は2019年10月31日（木）の宿泊です。
- ※ 全て部屋タイプはシングル・朝食付きの料金となります。シングル以外の部屋をご希望の方及び、前後日も宿泊希望の方（同料金でご宿泊いただけます）は下記旅行代理店までお電話ください。
- ※ 当シンポジウムの宿泊は申込用紙に上記のランクを第1希望・第2希望までご選択ください。宿泊施設の予約は先着順となっております。また部屋数に限りがあり、ご希望に沿えない場合がございますのでご了承ください。
- ※ 宿泊予約の取消につきましては、下記の取消料を申し受けます。
 宿泊の4日前まで無料、宿泊の3日前～前日20%、宿泊の当日50%、旅行開始及び無連絡不参加100%

青森国際ホテル

ランクA

1

¥9,500

青森市新町1丁目6-18
017-722-4321

アートホテル青森

ランクB

2

¥9,000

青森市本町2丁目1-26
017-775-7111

アップルハルス青森

ランクB

3

¥9,000

青森市本町5丁目1-5
017-723-5600

ホテルルートイン青森駅前

ランクC

4

¥8,000

青森市新町1丁目1-24
017-731-3611

ホテルマイズデイズ青森駅前

ランクC

5

¥8,000

青森市新町1丁目8-6
017-721-5656

ホテルアベスタ青森

ランクD

6

¥7,000

青森市新町1丁目11-22
017-723-2001

お問い合わせ・お申込み先

名鉄観光サービス 株式会社 青森支店

「全国過剰問題シンポジウム2019 in あおもり」参加申込係
 〒030-0802 青森市本町1-2-15（青森本町第一生命ビル7F）

TEL 017-776-5291

FAX 017-776-5232

<http://kaso-simposium2019.info>

日本旅行業協会 青森県支部